



イチゴ編

病害虫注意報 2024年8月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。



育苗期の徹底防除で、本圃への病害虫の持ち込みを防ぎましょう！



ランナー切り離し後 おすすめローテーション②

※ランナー切り離し後から農薬の使用回数のカウントが始まります。使用時期、使用回数に気を付けてご使用ください

切り離し後から育苗期がスタートです！

時期	RACコード	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数	影響日数			
							ミツバチ	マルハナ	ミヤコ	刊
8月③	10,1	炭疽病	ゲッター水和剤	1,000倍	21日前	3回	0日	1日	14日	
	-	ハダニ類 コナジラミ類 アブラムシ類等	フーモン ※野菜類登録	1,000倍	前日	-	0日		1日	
8月④	M03	炭疽病	アントラコール顆粒水和剤	500倍	仮植栽培期	6回	-	-	-	
	21A	ハダニ類	ピラニカEW	2,000~3,000倍	前日	2回	1日		30日	
9月①	11	炭疽病等	アミスター20フロアブル	2,000倍	前日	苗床：4回 本圃：3回	0日	1日	0日	
	6	ハダニ類	アグリメック 卵(ハダニ類)にも効果あり	500~1,000倍	育苗期	2回	14日	7日	7日	
9月②	M03,4	疫病	リドミルゴールドMZ	1,000倍	育苗期	3回	-		-	
	-	ハダニ類 コナジラミ類 アブラムシ類等	フーモン ※野菜類登録	1,000倍	前日	-	0日		1日	

★ いずれの薬剤も、高温時・多湿時の散布は控えその日のうちにきちんと乾かしましょう！

パラフィン展着剤

アビオン-E



- 雨を弾いて農薬の流亡を減らす
- 過度の水分蒸散を防ぐ

野菜類登録 農薬に添加
500~1,000倍(10~20ml/散布液10L)

クロスバリュー

2種類の微生物の力で

- 環境ストレスへの耐性強化
- 収量の安定と品質の向上

野菜類使用例

500~1,000倍、50~100ml/株
定植時~定植後、株元灌注

